

市長新春座談会 子育て真っ最中の皆さんと語る

# ともに支えあい、元気で安心して子育て・子育てができるまちをめざして

## 20年度子どもの医療費の窓口払いを廃止 小学3年生まで無料化を拡大

市長 皆さん明けましておめでと  
うございます。今年もよろしくお願  
いします。皆さんのご支持をいた  
だき、2期目の市政を担うこととな  
りました。今後とも、市民福祉の向上  
に全力で取り組んでまいります。  
さて、新春にあたり、子育て真っ  
最中の4家族・5名のお母さんと  
お父さんにお越しいただき、次代  
を担う大切な子ども達が健やかに  
生まれ育つ環境づくりについて、  
一緒に語り合いと思います。どう  
ぞ、よろしくお願ひします。では、  
ご出席の皆さん、お一人ずつ自己  
紹介していただけますか。

井上 私は市内の病院で保育士  
をしています。子育ては、自分が考  
えたとおりに、うまくいかないこ  
ともありますが、子どもと一緒に  
成長している感じです。

福山 狭山市に来て、30年経ちま  
す。両親が近くにいました。子  
どもが生まれたころは、同じ世代  
の人が周りにあまりいませんでし  
た。そんなとき、公民館の子育て講  
座に参加して、いい仲間と出会  
いました。そして、現在は、その人  
たちと、子育ての情報紙「チャイル  
ド」を発行しています。

横尾 私は、大阪から出てきて、狭  
山に住んでまだ2年弱です。1歳  
7か月の男の子を育てています。  
現在、児童館で知り合った仲間と  
「ポップキッズ」というサークルを  
作り、クリスマス会などを行い、楽  
しく活動しています。

酒井夫 子どもができて、実際、あ  
つという間でした。最初は、少し強  
制的に家庭での育児に参加させら  
れましたが、今は、楽しみながら参

子育てには感動する場面がたくさんあります。  
みんなで助け合って、子育ての楽しさを伝えたい



福山 泰子さん



北入曾在住・子育て情報紙「チャイルド」を編集・2児の母(小学6年生と幼稚園の年長の男児)

井上 智代さん



入間川在住・新狭山保育所保護者会副会長・6歳男児の母

それでは、まず最初に私から子育てを取り巻く現状とこれからの子育て支援の取り組みをお話します。狭山市では、この10年間で、14歳以下の子どもの数が約4千800人も減少し、65歳以上の方は約1万2千500人増加するなど、急速な少子高齢化が進んでいます。また、少子化の背景には、子育て世代の働く女性の割合が年々上

加しています。子育てにかかわること、その大変さを実感できたり、楽しさも味わっています。男性も子育てに、もう少し参加しなければいけないと思います。今日は、子育て中のお母さんの話が聞けるのが楽しみです。

酒井妻) 出産で狭山市の実家に里帰りしていましたが、子育て支援が素晴らしいこのまちが気に入って、引っ越してきました。昨年の3月に双子の子を持つサークル、テイククルキッズができて、同じような境遇のママさんと知り合い、情報交換をしながら、支えあい、助け合いながら子育てをしています。そして、外出ができないお母さんたちのために、サークルで情報発信をしようとホームページを立ち上げました。ぜひ、見てください。

市長 皆さんそれぞれ、さまざまな環境の中で、子育てに頑張っていると思いますね。

市長 それでは皆さん、子育てをしている中で、日ごろ感じていることをお聞かせください。

井上 今、市長さんからお話を聴いて知ったのですが、乳幼児医療費の窓口払いがなくなるのは大変助かります。少し具体的ですが、私は働いているので、土曜日に保育園が半日なのと、学童保育室が小

昇していることや、核家族化の進行、母親が一人で孤立した状況で育児を担っていたり、子育てに不安や負担感を持つ若い母親が増えていることなどが考えられます。

市では、狭山市に住みたいと実感できる、魅力あるまちの顔づくりを行うため、狭山市駅西口地区



家族の絆の大切さを語る仲川市長

学4年生になると受け入れてもらえなくなることが不安です。また、公園内の遊具の老朽化や砂場などの安全性なども気に掛かります。

酒井妻) 子どもが病気になったとき、一人の子どもを抱きながら、病院の窓口で乳幼児医療の申請書を出すのが、とても大変でした。私も医療費の窓口払いがなくなるの

再開発事業を進めています。本事業が少子化対策にも大きく貢献できると考えています。

また、20年度の子育て支援事業の大きな目玉の一つですが、これまで子育て家庭から要望の多かった乳幼児医療費の支給対象を、今年10月から、小学校入学前から小学3年生までに拡大します。そして、同時に窓口払いを廃止し、病院にかかっても手続きなしで診療を受けられるようにします。23年度には、中学生まで無料にしたと考えています。

さらに、育児不安の解消のため、子育て中の親が気軽に集い、交流ができ、相談などが受けられる「つどいの広場」の増設なども予定しています。

みんな子育ての中で不安を感じている相談相手、情報がほしい